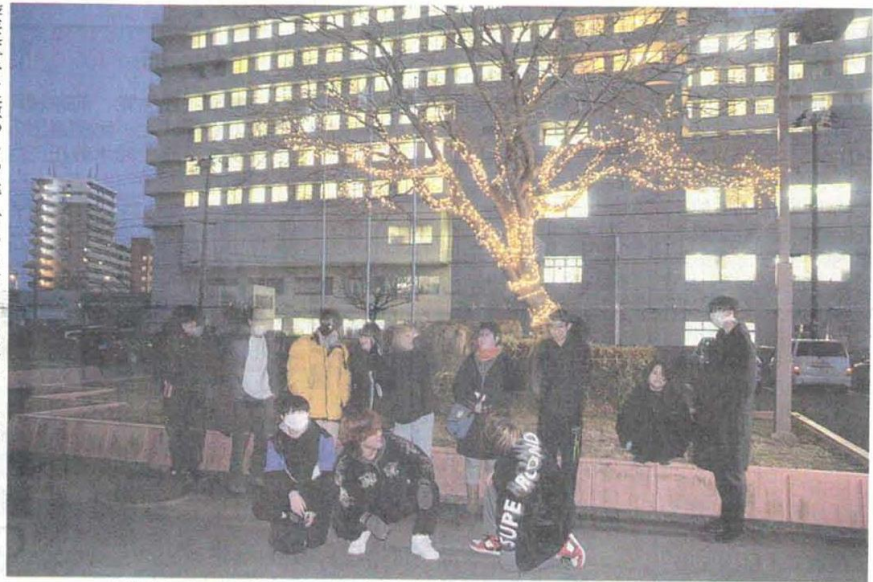


2023.11.15(金) 中央病院の入院患者らに癒しを
杜陵高生がイルミネーション設置【盛岡タイムス】

中央病院の入院患者らに癒やしを 杜陵高生がイルミネーション設置



県立中央病院（後方）の患者らに届けようと、イルミネーションを設置した杜陵高の生徒ら

盛岡市上田の県立杜陵高等学校（三田正巨校長）が、定時制96人、通信制169人で14日、イルミネーション（灯）がスタートした。杜陵高向かいの県立中央病院の入院患者や医

療従事者に癒やしの光であるモミジの木に、ED約4千個が取り付けられ、周辺を明るく照らしている。点灯は来年2月16日まで。1年生の吉田紫音（17）は「寒い中、作業は大変だったが、来年で100周年を迎える同校の記念事業の一環。設置作業も生徒たちの手で進められ

イルミネーションを見て気持ちよくしてほしいし、中央病院の患者さんにも、希望を持ってもらいたい」と語った。

三田校長は「生徒が他の人のためにという発想を持つてくれたことがうれしく、実現できてよかった。イルミネーションで自分たちが楽しむだけでなく、他の人に勇気など思いを伝えることができる、生徒も感じてくれたと思う」と生徒たちの様子を見守った。

中央病院の宮田剛院長は点灯に合わせて、「生徒の皆さんの思いがこもった素敵なイルミネーションによって、懸命に病気の治療をしている入院患者さんやわれわれ医療従事者の大きな癒やしとなり、非常に勇気付けられた。生徒の皆さんに感謝するとともに、生徒や学校関係者の未来が明るいものになることを祈る」と談話を出した。

太陽光発電による蓄電式。日暮れに合わせて自動点灯し、蓄電池の電力が切れると消灯する。